

# 令和6年10月21日開催の 研修会の質問及び回答票

①もし、導入するとなった際には現在の日向市としての対応や補助金等の支援はあるのでしょうか。

→ 高齢者あんしん課を中心に検討会が、開催されるそうです。

②導入の際に施設側からの提案で開始したのか、職員側からの提案で開始したのか。そして、導入の際に大変だったこと等はなかったでしょうか。

## ・神崎様回答

市として導入する時には、協議体のなかで導入に向けた前向きな検討を重ねたので大変と感じたことはありません。

市は、団体や組織を対象に説明会を実施しました。医療介護職の個人が使用する際は、使用している医療介護職が個別に提案していきました。提案した医療介護専門職が説明する際に、不明な点に関しては行政に直接問い合わせをいただいたので、個別の対応をさせていただきました。

## ・高石先生回答

クリニックでの導入は私の指示で開始しています。

ID登録なども、全員分を私が行い、スタッフそれぞれにIDを配布しましたので、導入時に苦勞したこともありません。

## <高石先生宛>

①ひかりケアライン登録者の内訳はどうなっていますか？

→2024年10月時点での登録者の内訳は以下の通りです。

看護師・准看護師 98名 (34.0%)

薬剤師 50名 (17.4%)

介護支援専門員 49名 (17.0%)

介護福祉士 20名 (6.9%)

医療事務 16名 (5.6%)

リハビリセラピスト (PT・OT・ST) 16名 (5.6%)

介護施設職員 9名 (3.1%)

社会福祉士・相談支援専門員 9名 (3.1%)

訪問介護員 8名 (2.8%)

医師・歯科医師 5名 (1.7%)

その他 (柔道整復師、福祉用具相談員、臨床検査技師) 8名 (2.8%)

②日向市、門川以外でも使われているのでしょうか。

→ MedicalCareStation のシステムは日本全国で28万人以上が使用しているツールです。宮崎県内でも、延岡市や都城市、宮崎市、日南市などで幅広く使用されています。「ひかりケアライン」の名称はこの日向・東臼杵地区での普及を促すための愛称です。

③訪問看護は医師の指示が必要と思うが「ひかりケアライン」における医師の指示は文書による指示となり、医療保険上の点数として請求できるのか？

→ 種々の規定上、「訪問看護指示書」は文書として必要だと思います。  
私も、「訪問看護指示書」自体は書面で発行し、それに対し、診療報酬請求を行っています。  
指示書の内容は包括的な指示になっていることも多く、実際は、病状の変化や患者の状態に対して、細かな指示を「ひかりケアライン」で行っています。  
この指示に対する診療報酬上の点数はございません。  
ただ、「在宅医療情報連携加算（100点）」のように、ひかりケアラインに診療情報を記載し、共有することで得られる診療報酬はございます。

④退院前共同指導などでひかりケアラインを用いて日程調整など行ったケースがあるのか。

→ ございません。

⑤退院前共同カンファレンス（院内、院外、多職種）の件数が増えているのか知りたいです。

→ 私の感覚では、新型コロナウイルスの流行で2020年～2021年頃は一気に減りましたが、2023年以降、徐々に増えてきている印象です。  
ただ、これはひかりケアラインの功績ではないと思います。  
新型コロナウイルスの流行で一般化した、オンラインミーティングツール（Zoom・Microsoft Teams・Google Meetなど）の功績です。

ひかりケアラインが普及し、入院担当医療機関、在宅療養担当医療機関、様々な多職種が、患者ページに加わっているならば、入院前の状態から、入院中の様子、入院後の見通しまで、1つのページで確認する事ができ、退院前共同カンファレンスがますます実り深いものになることは間違いありません。

<立縫の里 河野様宛>

①服薬管理システムについて詳しく聞きたいです。

活用方法、状況、どのくらい生産性向上につながっているのかなど

#### ■活用方法

- 薬局からのお薬情報シートに印刷されているQRコードを読み込んでシステムに登録（朝・昼・夕・眠前などの用法も登録される）
- ご利用者様の顔写真をシステムに登録
- 配薬時には食事のお膳にセットされている食札に服薬管理用に貼り付けてある（朝・昼・夕）のQRコードを読み込む
- ご利用者様の顔写真から認証、与薬する流れ

#### ■状況

- お薬情報シートからQRコードで直接システムに登録ができるので、手入力での登録に比べ間違いがありません
- 当施設で使用しているシステムではお薬の内容や錠数が表示されるので一般の介護職でも確認が容易で、主治医以外の他科処方のお薬があっても間違いがありません
- 配薬時にQRコードの準備が出来ていないと業務が停滞することがあります

#### ■どのくらい生産性向上につながっているか

- 配薬時に複数の人間でダブル・トリプルチェックしていた工程が間違いのない機械とのダブルチェックになりますので、自分以外の職員に手を止めてもらって確認作業をする時間が無くなります
- お名前、性別だけでなく顔写真による認証システムなので、新規のご利用者様に対しても誤薬する可能性が低いです